

「地創塾」実施概要

1.地創塾の概要

「地創塾」は、地方公共団体や地方創生に関わる民間事業者が官民の垣根を越えて、参加者個人の企画立案力の向上、官民を超えた人的ネットワークの構築、地域課題の解決に向けた検討を、年間を通じて継続的に行うプラットフォームです。

2.構成員及び参加対象者

本プラットフォームは、「塾生」及び「オブザーバー」から構成されます。

参加対象者は以下のとおりです。

①地方公共団体の職員：

本事業の主たる参加者である「塾生」として、課題発表やグループ討議に参加いただけます。また、オンラインシンポジウム・視察・マッチングイベントといったイベントにご参加いただくことができます。

②地方創生に関わる民間事業者等の方：

本事業の「オブザーバー」として参加いただけます。オンライン授業への陪席、オンラインシンポジウムへの登壇、視察・マッチングイベントといったイベントにご参加いただくことができます。

3.実施内容

①オンライン授業（原則毎週開催（90分程度）／塾生は参加必須）

地方創生の先進的な取組を行っている地方公共団体の担当者や地方創生の課題解決に知見のある専門家等を講師に招き、取組を推進する上での工夫や苦勞といったリアリティの高い事例紹介をいただきます。

オンライン授業は、先進事例紹介の講演に加えて、講師との質疑応答、参加者間でのディスカッション等も行い、授業を通して参加者の課題解決に繋がるような構成で実施します。

なお、オンライン授業は、2週1セットで1つのテーマを扱います。

<オンライン授業の実施イメージ（例）>

	Day1	Day2
授業内容	<ul style="list-style-type: none">先進事例を3事例紹介 (地方公共団体の担当者等の講演)質疑応答	<ul style="list-style-type: none">グループディスカッション (Day1の事後課題の内容に沿った議論)事例の要諦解説 (地方公共団体の担当者等の解説)
事後課題 (例)	<ul style="list-style-type: none">事例における地域の強み、課題の整理成功要因の分析等	<ul style="list-style-type: none">自身の組織において活用できる事例からの学び、障壁等

②オンラインシンポジウム（令和7年8月ごろ（予定）／任意参加）

オブザーバーを中心に地方創生の取組に資する民間企業等のサービスや技術を3日間連続開催で、27程度の企業・法人を紹介するオンラインイベントを開催します。

オブザーバーは授業等で塾生の取組や課題を理解しているため、塾生のニーズにマッチしたサービスや技術等を知ることができ、事業を具体化させるためのヒントを得られます。

オブザーバーは自社の取組等を紹介できる機会ですので、ぜひ積極的にご活用ください。

③マッチングイベント（令和7年10月ごろ（予定）／任意参加）

塾生とオブザーバーが直接意見交換を行い、地域課題とその解決に向けたソリューション等のマッチングをする場を対面（東京を予定）にて開催します。

マッチングイベント参加者は、事前に自己紹介シートの作成やオンラインで自己紹介をする事前イベントに参加いただくことで、お互いのシーズやニーズを理解してイベント当日に効果的なコミュニケーションを図っていただけます。

④現地視察（令和7年6月以降（予定）／任意参加）

先進的な取組を行っている地方公共団体を訪問し、地方公共団体、連携先、施策の利用者等と意見交換し、取組をより深く理解できる現地視察（日帰り／最大3回）を実施します。

地方創生という同じ目的に取り組む視察先や参加者間でのネットワーキングを図れます。

※参加希望者多数の場合は、オンライン授業の課題提出状況や、授業内での発言など積極的な貢献度合等を勘案して、選定させていただきます。

⑤地方創生の企画案作成及び表彰（塾生は必須）

塾生には「地創塾」での学びを活かして各自の地方公共団体における地方創生の企画案を作成します。作成後は塾生間での投票を行い、優秀な企画案として選出されたものは、内閣府において表彰を行います。

4.備考

受講にかかる費用は無料です。ただし、3.③④などのイベントに参加していただく場合の旅費等は、参加者の自己負担となります。

以上